TOKIO MARINE Topics (物流関連速報)

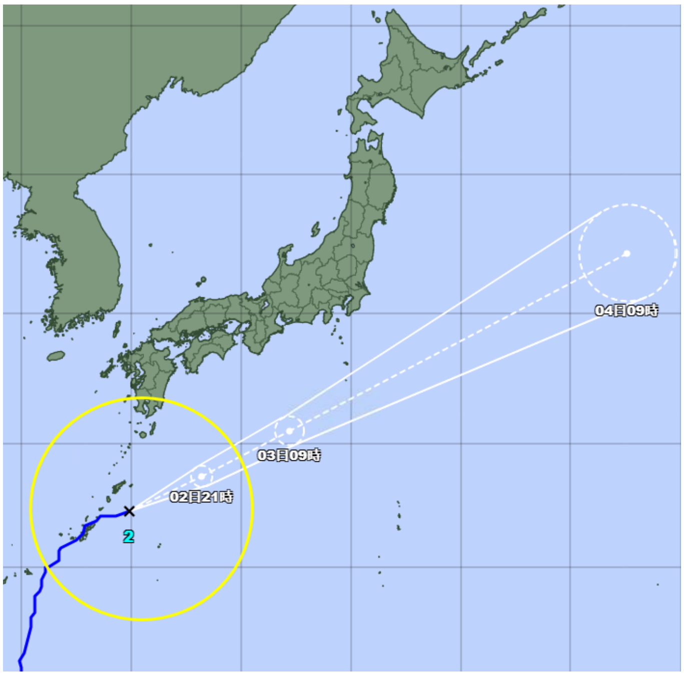
台風２号の接近に伴う注意喚起

TOKIO MARINE GROUP
To Be a Good Company
東京海上日動火災保険株式会社
（2023 年 6 月 2 日）

各種ニュース報道のとおり、5 月にグアムを襲った大型の台風2号（マーワー）は、今後日本の南を縦断する見込みです。本号では、被害の発生・拡大防止に向けた事前の対策についてお伝えいたします。

1.　台風２号の進路予想

6 月 2 日(金)9 時の気象庁予報部発表によると、大型の台風２号は、沖永良部島の東約 120km の位置にあり、中心の気圧は 980hPa、最大風速は 23m/s、最大瞬間風速は 35m/s です。台風２号は本州からは離れて進むものの、梅雨前線が北上し、西日本から東日本にかけて広域に停滞しており、前線に台風からの非常に暖かく湿った空気が流れこむことで前線を刺激しているため、局地的に雷を伴った非常に激しい雨が降り、強風となる見込みです。



台風２号の進路予想（6 月 2 日 9 時　気象庁発表）

気象庁は 1 日、中国・四国地方で 2 日午前から夜にかけて局地的な豪雨をもたらす「線状降水帯」が発生する可能性があるとの予報を発表しました。線状降水帯の半日前予測は今年に入って初めてです。また近畿・東海でも線状降水帯が発生しやすい状態が見込まれます。線状降水帯が発生すると長時間・同じ場所で激しい雨に見舞われるため、災害への備えも重要となります。

各鉄道会社も計画運休の可能性を示唆し、高速道路会社も速度規制等の影響を受ける可能性があります。最新の情報の確認・早めの行動をお勧めいたします。

また、今回の台風では、西日本から東日本の広い範囲で、土砂災害・低い土地の浸水・河川の増水や氾濫に警戒する必要があります。雨が強まる前に早めの備えを進めるとともに、今後の台風情報、地元気象台の発表する警報や注意報、早期注意情報、気象情報等にご注意ください。

2.　事前の対策について

台風･集中豪雨は平時からリスクを想定し、タイムラインに沿った防災行動計画の策定と、対策ツールの準備など、具体的に対策を検討･実行していくことにより減災が可能と言われております。今一度、社内関係部署との連携方法や対策ツール類のご準備･すぐに取り出せて使用できる状態になっているかといったご確認をお勧めいたします。

内閣府の警戒レベルにあわせお客様の貨物を迫ってくる危険から守るためのチェックシートを添付いたしますので、現場ご担当者様での確認作業にご活用いただければ幸いです。

◇◆

【出典】 気象庁 https://www.jma.go.jp/jp/typh/

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

マリントピックス　バックナンバー